

# 旧赤星鉄馬邸の保存・利活用を考える 市民ワークショップニュース

令和5年3月発行 / 武蔵野市 総合政策部 資産活用課

vol.

1

旧赤星鉄馬邸と建物の文化財的価値と豊かな自然環境を次の世代へつなぐため、庭と建物との一体的な利活用を検討しています。全4回の市民ワークショップでは、無作為抽出と公募で応募いただいた方から抽選で選ばれた市民の皆様と旧赤星鉄馬邸の保存と利活用を考えていきます。

ニューズレターでは、毎回のワークショップの内容を市民の皆様にご発信していきます。



現地見学会の様子

## ワークショップの予定

※参加申込みは締め切りました

第2回以降は傍聴可（要事前申込）

第1回 1/22(日) 旧赤星邸を知ろう

次回

第2回 3/19(日)  
旧赤星邸の利活用で大切にしたいことを考えよう

第3回 5/14(日)  
テーマに沿って利活用アイデアを考えよう

第4回 7/9(日)  
次世代につながるしくみを考えよう

## 第1回ワークショップを実施しました

日時：2023年1月22日（日）

時間：13:30～16:30

会場：成蹊大学

参加人数：48名（6班編成で実施）

### ▼プログラム

- ・はじめに
- ・現地見学とグループワーク①(取得の経緯やワークショップの趣旨、進め方についての質問や感想)
- ・グループワーク②(期待していること、気がかりなこと、ワークショップの進め方への意見)
- ・グループ発表（ファシリテーターによる発表）

①



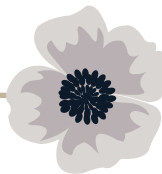
# 第1回ワークショップ 当日レポート

※詳しい意見概要は  
後日市ホームページに掲載します

初回にあたる今回のワークショップは、旧赤星邸を知ってもらうため現地見学も行いました。はじめて赤星鉄馬を知ったという方、近代建築に興味がある方、以前から旧赤星邸を見てきた方など多様な方にご参加いただいています。後半のグループワークでは、はじめは緊張感がありましたが、グループの皆様の多様な意見に耳を傾け、徐々に和やかな雰囲気が進めることができました。

## ▶ 現地見学の感想

- 想いの他建物・庭の広さに驚きました。
- やっぱ庭がきれい！
- 大事な建物なのでドキドキしながら見学させていただいた。
- 台所がどこにあるか分からなかった。
- これまで3回見学したが、今日の説明が一番分かりやすかった。
- 思ったよりも部屋数が多い。
- 広い庭が印象的。日当たりの良さも印象的。
- 洋館のイメージだったが、意外と近代的でした。
- 屋上、礼拝堂、修室棟の見学も別の機会できると良い。
- 素敵な貴重な建物を見学できて良かったです。



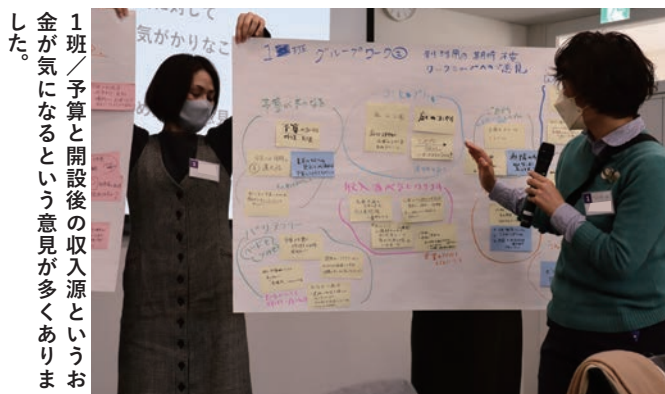
## グループ ワーク 1

### 旧赤星鉄馬邸の背景や取得の経緯、今後のスケジュール、ワークショップの趣旨などへの質問や感想は？



2班/蔵をバーに活用するなど、  
個性的な利活用のアイデアが出ま  
した。

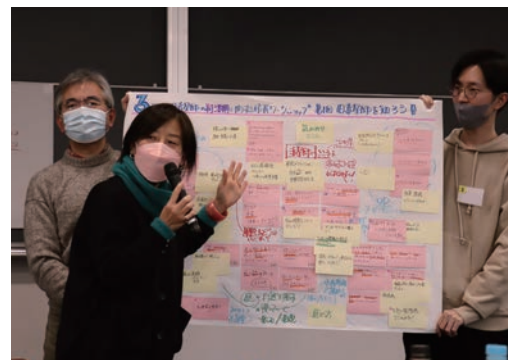
- 様々な進めるべき政策がある中で赤星邸を市が取得を決定し、進めたことは素晴らしい！
- 歴史的に貴重な建物と庭が売却されず残ったことは良い。
- 建物の名前の由来がわかった。修道女さんも吉祥寺のまちで見かけなくなったので、どうしたのかと思っていた。
- 赤星邸のことは知らなかった。
- 民間に売却されず良かった。100年後も残せるように。
- 市民の声を取り入れながら残すのは良いが、専門家でないので良い意見を出せるか心配だ。
- 歴史的な建物と広い庭との一体活用とはどんなものか。
- 赤星邸のどこをアピールするか方向性をまとめる必要がある。
- 庁内ワーキング報告書を読んだが、利活用は思ったより法規制が多いことに気が付いた。
- 私用地から公共施設になることでクレームが増えないか。
- 登録有形文化財とはどういうもの？改装は可能なのか。



1班/予算と開設後の収入源というお金が気になるという意見が多くありました。

可能な場合、どこまで手を入れられるのか知りたい。

- 登録有形文化財としてどこまで利活用できるのか。
- 予算ありきで活用方法が決まるのか。想いをまとめれば、予算がつくのか。それによりワークショップの進め方が異なる。
- ワークショップと有識者会議の関係や役割、ワークショップの意見をどう計画に反映されるのか知りたい。
- ワークショップの意見やまとめが、どの時点で計画に反映されるのか。有識者会議に反映されるのか知りたい。
- 有識者会議の討議内容を知りたい。
- 市の考えを聞きたい。



3班/赤星邸を建てた赤星鉄馬の思いを大切にしたいと、班内で意見が一致していました。

## グループワーク 2

旧赤星鉄馬邸の利活用に対して、期待していること、気がかりなことは？  
ワークショップの進め方への意見は？

5班／市民のための場、全国から人を呼べる施設かといった議論がありました。



### 期待していること

- たたずんだり、目的がなくても気軽に立ち寄れる場所。子どもから大人まで使えると良い。
- 市民が楽しめるが良い。
- 地域の価値が上がるような利活用ができると良い。
- 旧赤星邸の利活用により、地域活性化になると良い。
- 旧赤星邸ならではの利活用のコンセプトがあるとよい。
- すべて歴史的だから保存するのではなく、現代的な利用に合うよう保存範囲を決めたい。
- 古い建物だが、明かり取りの窓や作り付けの家具、暖房機器は生かしてほしい。
- どんどん大きな邸宅が壊され、風景が変わっているのので、できる限り保存してほしい。
- 文化財として維持できる期間を設定したり、目的により人数を限定するなど工夫したい。
- 赤星鉄馬の功績と建物保存は別に捉えても良いのでは。
- 採光を生かせると良い。
- 塀で外から何も見えないので、市民を遠ざけてしまっている。今から見えるようにしてほしい。歴史や取組が分かるように塀を掲示板のように活用しては。
- 自分の得意なことやできる範囲で関わられるボランティア参加のしくみがあると良い。
- 入場料やカフェの売上などを赤星邸での売上でまかなえると良い。次世代に負担がないようにしたい。
- 喫茶室やカフェがあると、休憩しやすく、人も集まりやすい。また維持費を稼ぐことができる。
- 非営利目的利用に限定した方が良い。
- ボランティア頼りではなく、運営組織を整え、継続的に維持できるようにしたい。
- 市民が結婚式やパーティーなどができれば、運営面や市の財政に役立ちそう。
- アニメ美術館として活用すると収益も出せそう。
- 庭を有効活用したい。
- 庭を自然の形で保存できると良い。



4班／利活用アイデアのほか、安全性や改修や維持コストについて意見がありました。



### 気がかりなこと

- 旧赤星邸を建設当初に戻すべきか。相当手を加えないと公開できないのではないかと。
- 建物に段差が多く、バリアフリーの面で課題がある。建物の文化的価値とのバランスが難しい。
- 建物と庭の一体化が大切だ。ただ建物の利活用の方向性によって、庭の状態も変わってしまうことが心配だ。
- 保存と利用のバランスが難しい。建物にどの程度手を加えるのか難しそう。使用されすぎたり、ずっと使用できないことで故障したり、価値が損なわれないか心配だ。
- わざわざ保存するほどの価値のある建物か疑問だ。
- 公園になると、誰でも使えるようになってしまい、利用の仕方が大きく変わってしまいそうで心配だ。
- 公園や観光施設になることで、騒音やゴミなどが心配だ。近隣への配慮が必要だ。
- 個人邸を公共施設に転用すると、棚や押し入れなど家具や什器などの管理が大変そう。
- 築90年近く経っていて、常時開放すると耐震性が心配。
- 修復や耐震、改修にかかる費用や建物の維持管理にどれくらい費用がかかるのか知りたい。市の負担や補助金、財源をどのようにまかなうのか知りたい。
- 駅から少し遠くアクセスしづらい。アクセスしづらさを感じさせない目玉となるものや駐車場整備などが必要。
- 車通りの多い場所なので、交通安全への配慮が必要だ。

6班／どこまで保全すべきか、メリハリをつけた利活用の方が良いか話し合いました。



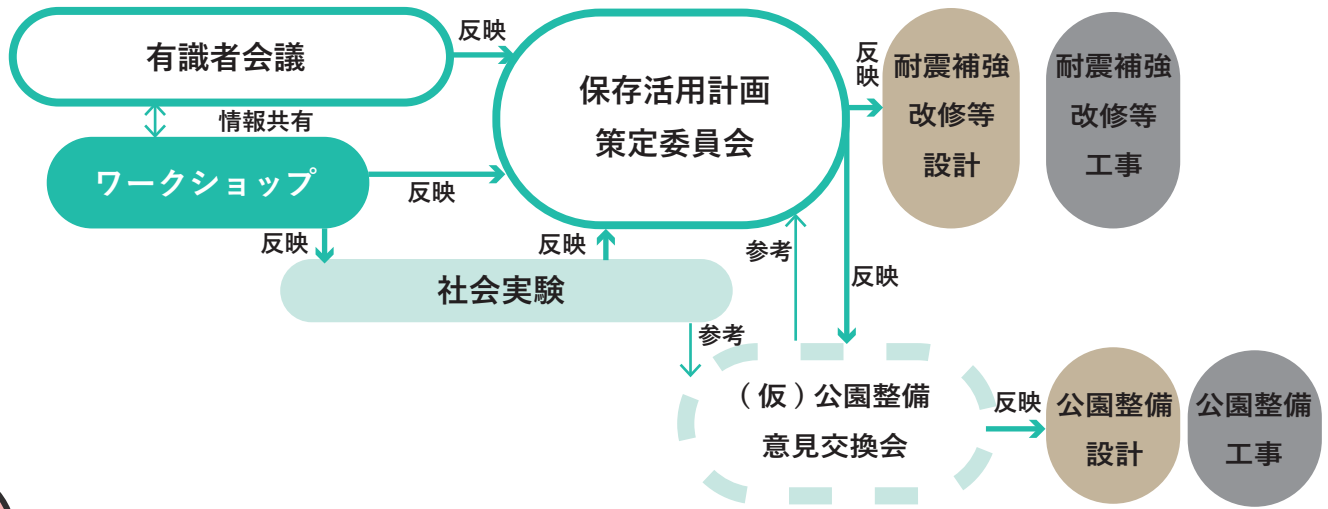
### 参加者のコメントシートより

- 積極的で建設的な意見が出て楽しかったです。普段交流できない市民の方たちと同じテーマについて意見交換でき、有意義でした。
- ディスカッションの時間がもう少しあってもよいか。
- ワークショップの進め方について、考えることが目的なのか、案の決定は市、有識者、ワークショップ？

# 旧赤星邸利活用 全体スケジュール

※現時点における想定であり、今後の検討状況や補助金申請状況により変更になる可能性があります。

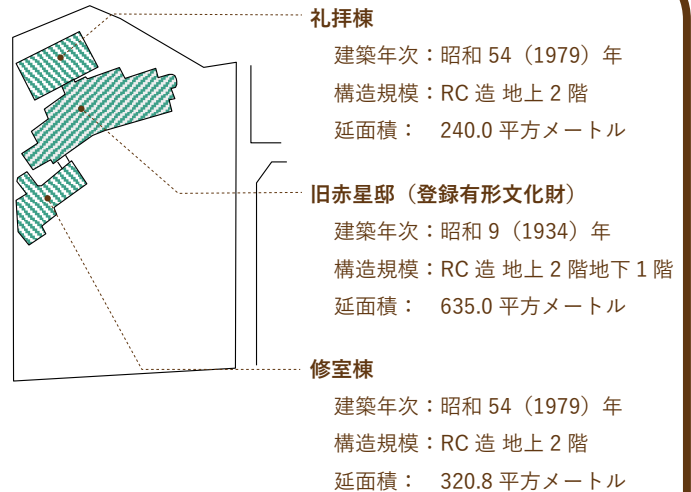
令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------	-----------------



## POINT

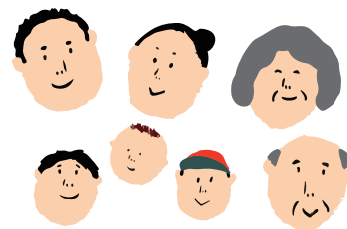
### 旧赤星鉄馬邸とは

「旧赤星鉄馬邸」は、著名な建築家アントニン・レーモンドにより個人住宅として設計され、昭和9年に竣工した鉄筋コンクリート造の建物で、令和4年10月31日に登録有形文化財に登録されました。令和3年2月に、前所有者のカトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会より、この環境を残したいとの思いから、市が建物の寄贈を受けました。



## みなさまの声を聞かせてください！

市ホームページにて、旧赤星鉄馬邸の保存・利活用に関する意見を募集しています。  
いただいたご意見は保存・利活用検討の参考にします。



▼意見はこちらから



問合せ先 〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 武蔵野市役所 総合政策部 資産活用課  
電話：0422-60-1973 fax：0422-51-5638 E-mail：sec-shisankatsuyou@city.musashino.lg.jp